

山城北保健所管内の感染症発生動向調査

(ARI定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

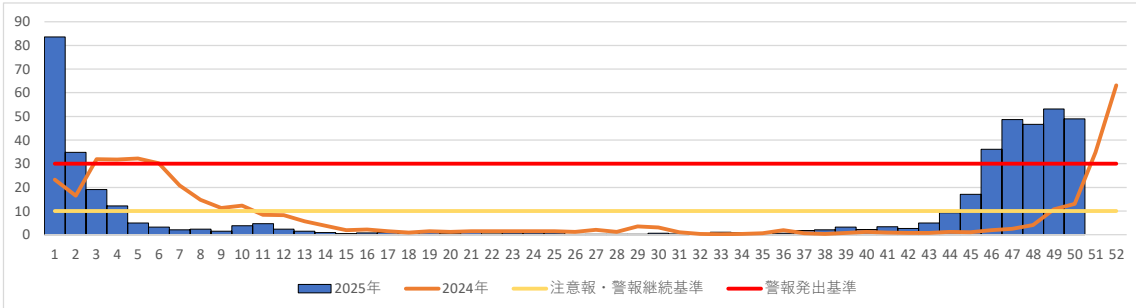
2025年 第50週 (12月8日～12月14日)

今週のコメント

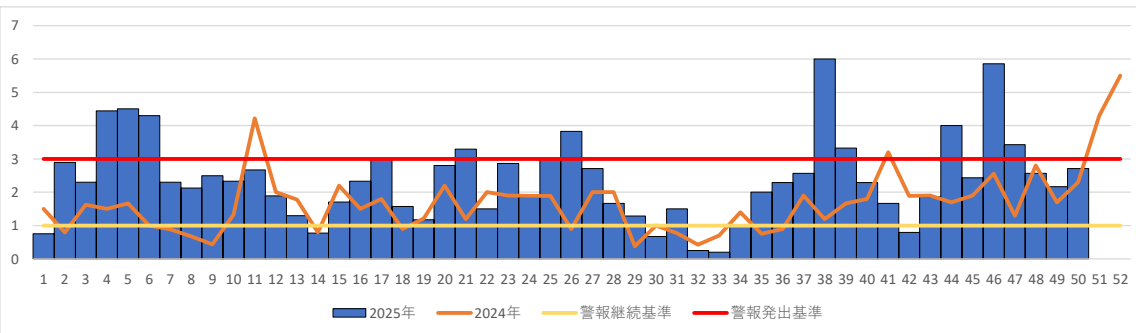
- 「インフルエンザ」の定点当たりの報告数は48.90(49週53.11、48週46.7)とやや減少も、依然警報継続レベルを超えています。
- 「咽頭結膜熱」の定点当たりの報告数は2.71(49週2.17、48週2.57)と警報継続レベルを超えています。
- 「新型コロナウイルス感染症」の定点当たりの報告数は1.80(49週0.78、48週1.71)と増加しています。
- 手洗い、手指消毒、咳エチケット、こまめな換気等の感染症予防を行い、感染に気を付けましょう。

インフルエンザ(定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数

https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/2025ful_3.html



咽頭結膜熱(定点把握疾患) 山城北保健所管内週当たり報告数



定点把握疾患 <特定の医療機関(定点医療機関)を定め、その医療機関を受診した患者の数を基に、流行状況を把握>

疾患名	定点あたりの報告数(前週比)	疾患名	定点あたりの報告数(前週比)
インフルエンザ	48.90 (0.92)	手足口病	— (0.00)
新型コロナウイルス感染症	1.80 (2.31)	伝染性紅斑	0.14 (0.00)
RSウイルス感染症	0.86 (2.61)	突発性発しん	0.14 (0.42)
咽頭結膜熱	2.71 (1.25)	ヘルパンギーナ	0.14 (0.00)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.29 (0.70)	流行性耳下腺炎	— (0.00)
感染性胃腸炎	1.86 (0.74)	急性出血性結膜炎	— (0.00)
水痘	0.29 (0.58)	流行性角結膜炎	— (0.00)

定点あたりの報告数 = 1週間の報告件数 / 定点数

警 報 : 1週間の定点あたり報告数が、ある基準値(警報の開始基準値)以上の場合に発生します。

前の週に警報が発生していた場合、1週間の定点あたり報告数が別の基準値(警報の継続基準値)以上の場合に発生します。

注意報 : 警報が発生していないときに、1週間の定点あたり報告数が、ある基準値(注意報の基準値)以上の場合に発生します。

全数把握疾患 <全ての医療機関から医師の届出が義務付けられている感染症>

分類	報告
1類感染症	報告なし
2類感染症	結核(2件)
3類感染症	報告なし
4類感染症	レジオネラ症(1件)
5類感染症	報告なし

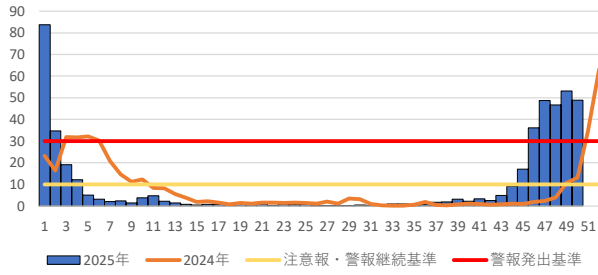
※このデータは速報値であり、今後変更等が行われる可能性があります。ご了承ください。

参考 : 京都府感染症情報センター

<https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

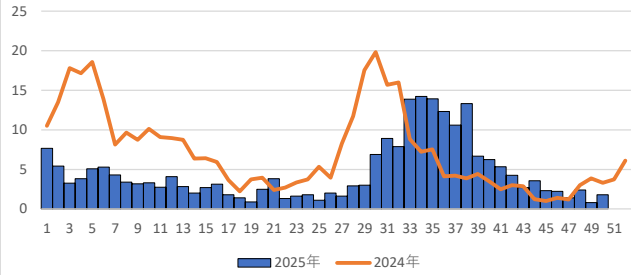
山城北保健所管内定点当たり報告数推移

インフルエンザ



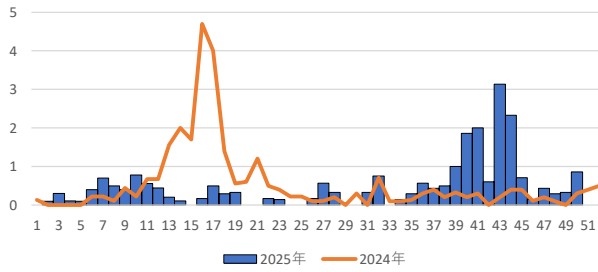
新型コロナウイルス感染症

警報基準なし

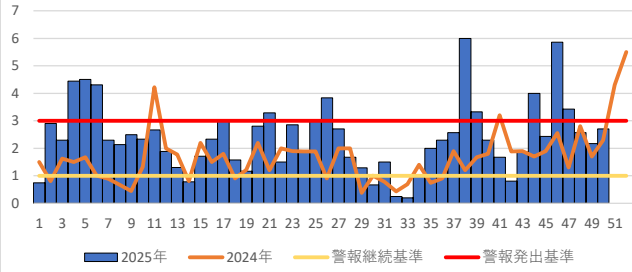


RSウイルス感染症

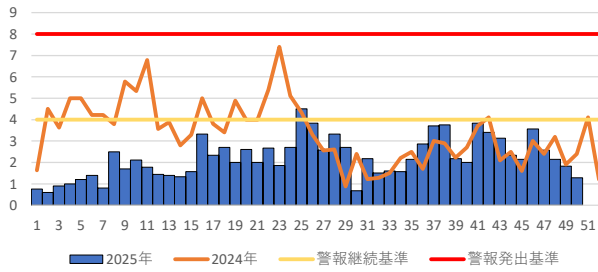
警報基準なし



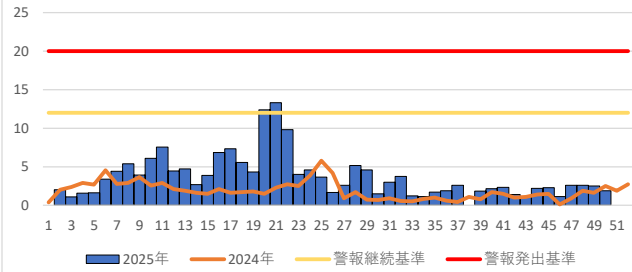
咽頭結膜熱



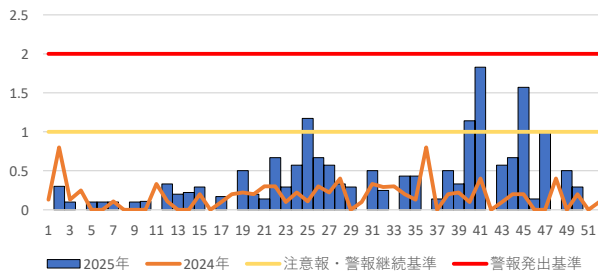
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



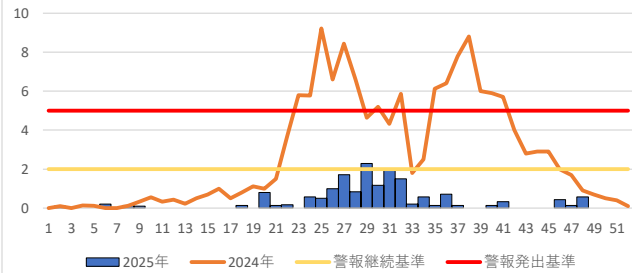
感染性胃腸炎



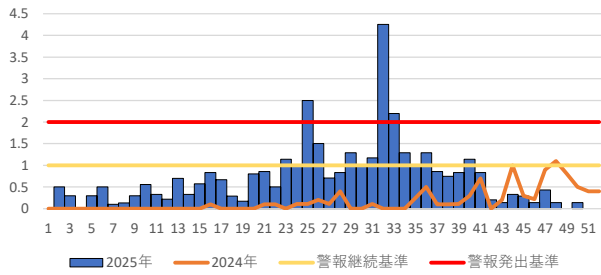
水痘



手足口病

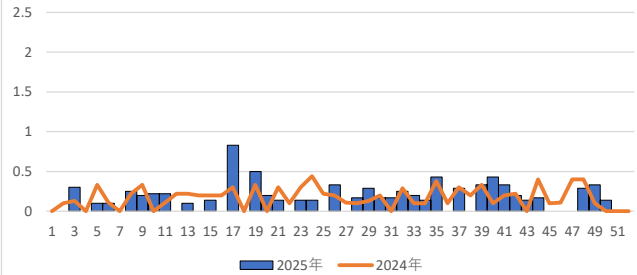


伝染性紅斑

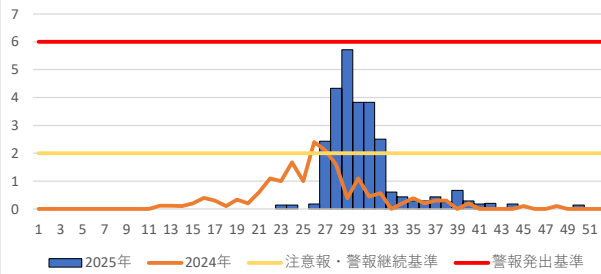


突発性発しん

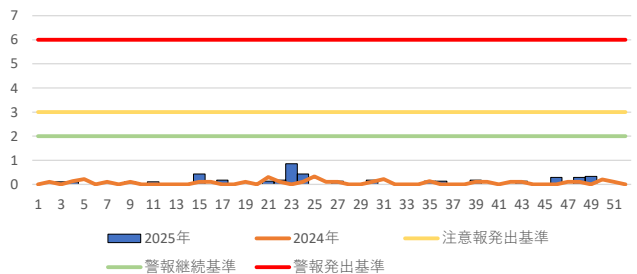
警報基準なし



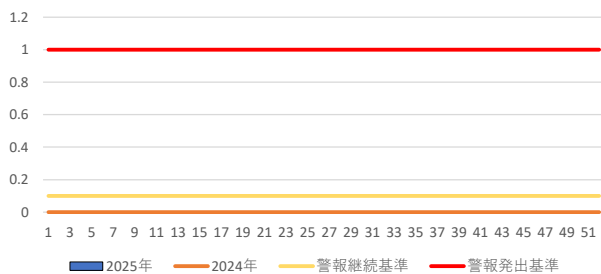
ヘルパンギーナ



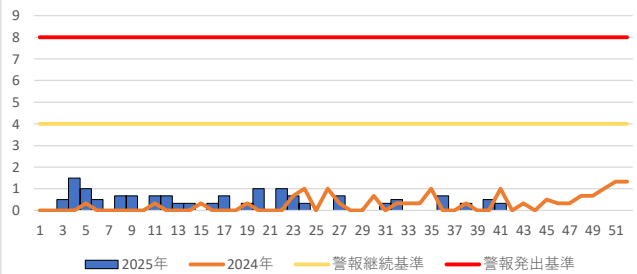
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



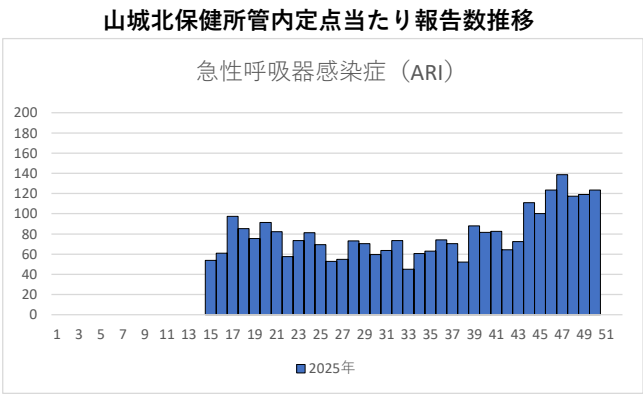
急性呼吸器感染症（ARI）とは

急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

令和7年4月7日からARIが感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。以下の症例定義（※）を満たす場合に報告対象となることから、インフルエンザやCOVID-19等と診断された場合でも、ARIの症例定義の症状があれば両方の報告対象となります。

※ 咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

	定点あたりの報告数（前週比）
急性呼吸器感染症（ARI）	123.43（1.04）



※ 急性呼吸器感染症：2025年4月7日から集計を開始
参考：京都府感染症情報センター 京都府におけるARI発生状況 <https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/ari.html>